

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	障害者（児）住宅改修費				事業番号	011-157	
担当部署名	健康福祉局	局	障害福祉部	部	障害支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
			有	取組の方向性	①相談支援体制の充実・強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画		
3	事業開始年度	昭和 47 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 堺市重度障害者等住宅改修費の給付に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区					
6	事業の対象	①②いずれかの手帳を所持し、住宅及び心身の状況により住宅改修が必要と認められる方（介護保険で住宅改修を行うことができる方を除く） ①身体障害者手帳1・2級又は下肢・体幹・脳原性移動機能障害3級、②療育手帳A				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	在宅の重度障害者児が住み慣れた地域で自立し、安心して生活することができるようにすることで、障害者児が生き活きと輝いて暮らせる社会を実現する。					
8	事業内容	対象者が居住の用に供している住宅の便所、浴室、玄関、廊下、階段、台所、居室等の改修工事及び日常生活に必要な医療機器等（在宅血液透析等）の設置に伴う電気工事及び給排水工事等に係る経費（上限50万円）を給付する。 【費用負担】 受給者は、対象経費のうち20万円までについては原則1割を負担し、20万円を超える部分については2/3を負担する。（生活保護世帯、低所得世帯を除く。）					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	上限50万円のうち、20万円までは地域生活支援事業として実施し、20万円を超える部分について、市単独事業として実施。 ★市単独事業分のR7決算額 2,661千円					
9	主な支出先	改修工事を行った業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	在宅の重度障害者児が住み慣れた地域で自立し、安心して生活することができるようにする						
	当該目標を設定した理由	第7期堺市障害福祉計画及び第3期堺市障害児福祉計画の基本理念による。					
12	目標に対する実績	住宅改修により、在宅の重度障害者児が住み慣れた地域で自立し、安心して生活できるようになった。					
	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	住宅改修費給付件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	20	24		
	当該指標を選定した理由	日常生活の基礎となる住宅の改善を促進することで、在宅の重度障害者児が住み慣れた地域で自立し、安心して生活することができるようにすることにつながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定になじまない。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者（児）住宅改修費	事業番号	011-157
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	9,893	5,602	11,192	6,887	10,181
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	9,893	5,602	11,192	6,887	10,181
14	人件費（b）	810	810	840	840	870
15	年間経費（c）=(a)+(b)	10,703	6,412	12,032	7,727	11,051

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	障害者住宅改修費	R8	予算	9,084	9,084		R8	予算		
		R7	決算	1,030	1,030		R7	決算		
	障害児住宅改修費	R8	予算	1,097	1,097		R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	住宅改修費給付件数	件	20	24
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,412	7,727
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	320,600	321,958
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	住宅の改修に係る費用であること、また、この改修により重度障害者児が住み慣れた地域で自立し、安心して生活することができるようになることを考慮すると、当事業は費用対効果に見合ったものとする。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、在宅の重度障害者児が住み慣れた地域で自立し、安心して生活できるよう、住宅改修に要する経費を助成している事業であり、堺市基本計画2025の相談支援体制の充実・強化の取組の方向性に寄与した。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	評価期間を通じて対象者から切れめなく給付申請が行われており、事業の必要性は高いものと評価する。また、本事業は住宅改修費の支給を通じて障害者児の地域生活における自立支援に大きく寄与しており、有効性も高いものと評価する。
	有効性	■ 高い □ 低い	